

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	祝日歯科応急診療事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[祝日等歯科応急診療事業]		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	5	事業番号	2	
開始年度	平成 27 年度 ☐ 不詳			行政報告書		335 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市祝日等歯科応急診療事業委託契約書										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		東京都東大和市歯科医師会に委託し、祝日等に歯科の応急診療事業を輪番制で実施し、祝日における市民の歯科医療提供体制の充実を図った。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民					祝日等における急病患者に対し、歯科診療を実施することにより、市民の健康を守る。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	歯科医師会に事業を委託し、市内の歯科診療所において輪番制で実施した。					祝日等の急病患者が歯科診療を受けることができた。					
	効果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	85,314		85,183		84,881			
		効果実績値	人	84		83		78			
		目標値設定の考え方	歯の応急診療が必要となる市民は把握できないので、目標設定は困難である。								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	2,270,375		2,218,405		2,166,435				
財源		一般財源	円	1,300,375		1,248,405		1,196,435			
		特定財源（国・都・他）	円	970,000		970,000		970,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.3		0.3		0.3			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	2,514,000		2,474,000		2,448,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	4,784,375		4,692,405		4,614,435				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5 市民協働	市民協働の取組		取組手法：					
	☐ 取組んだ ☒ 取組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点							
	なし							
6 分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 利用人数は維持傾向である。					
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 祝日等における歯科の急病患者へ診療を提供するため事業案の縮減は困難である。					
	(3)指標の達成状況の評価							
		(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果 ランク の 説明 と 方向 性		
	(1)		向上	維持			低下	A：効果指標・費用対効果が共に向上
	効果 指標	向上	A	B			D	B：効果指標が向上・費用対効果が維持
		維持	C	E			G	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
		低下	F	H			I	D：効果指標が向上・費用対効果が低下
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					E		E：効果指標・費用対効果が共に維持	
					F：効果指標が低下・費用対効果が向上			
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※			
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※			
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※			
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）								
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明：歯科医師会との委託事業で協力を得ているため。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明：市民の歯科に対する健康が脅かされるため						
7 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）							
	今後も継続的な市民への周知を行う。							
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
	市報、市公式ホームページ、ツイッターに掲載し、公共施設等にポスターを配布した。また全戸配布している健康カレンダーに掲載したり、他の事業配布物にちらしを同封して周知した。							
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）							
今後も継続的な市民への周知を行う。								
8 方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
	周知の徹底。							

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	【献血及び献血推進事業】		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	年度			☒ 不詳		行政報告書	285 ページ		新規・継続	継続	
実施の根拠 (法令・要綱等)											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		東京都赤十字血液センターと連携し、地域における献血思想の普及と献血の推進を図る。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民					市民が献血に協力いただけるよう周知する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	市内で献血実施、ホームページ、コミュニティビジョン、ちらし配布等による広報。					献血に協力し、安定的な血液製剤を届けることに寄与した。					
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	85,314		85,183		84,881			
		効果実績値	人	518		661		699			
		目標値設定の考え方	前年度献血者総数の維持								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	0		0		0				
財源		一般財源	円								
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.2		0.2		0.2			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000		1,650,000		1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	1,676,000		1,650,000		1,632,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組	取組手法：献血推進協議会							
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	【取組手法の種類】② ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点								
市民協働	年1回開催される献血推進協議会で、貴重なご意見をいただく。								
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明：献血に協力できた。						
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明：東京都赤十字血液センターが主となり実施しているため維持。						
		(3)指標の達成状況の評価							
			(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果 ランク の 説明 と 方向 性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
		(1)		向上	維持			低下	B：効果指標が向上・費用対効果が維持
		効果 指標	向上	A	B			D	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
			維持	C	E			G	D：効果指標が向上・費用対効果が低下
			低下	F	H			I	E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上				
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※				
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※				
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※				
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）									
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明：東京都赤十字血液センターが主となり実施しているため維持。							
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明：市民のみならず、健康で過ごしていくためにも安定的な献血製剤を確保することは必要である。							
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）							
		献血者数が減少している。							
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
		周知の徹底。							
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）									
今後とも市報・チラシ・ホームページ・コミュニティビジョン等を活用して告知を行う。日本赤十字社が作成した啓発用ポスターを市役所及び保健センターに掲示する。									
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
		引き続き、献血の実施の協力依頼を行う。（赤十字血液センターが主に調整を行う）							

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	休日急患診療所運営費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[休日急患診療所運営事業]		課	健康推進課			課長名	幸村 有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	5	事業番号	1	
開始年度	昭和 50 年度 ☐ 不詳			行政報告書		334 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市休日急患診療所設置条例										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		休日における市民の急病に対応するため、休日急患診療所を開所し、診療を行う。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	市民				発病の初期段階で処置等を行う。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	①休日急患診療所の周知（市報、ホームページ）、②医師会、薬剤師会との連携、③医薬品の管理、④施設管理、⑤従事者との契約				発病の初期段階で処置等を行うことで、市民の健康の保持及び増進に寄与する。						
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値									
		効果実績値	人	358		432		672			
		目標値設定の考え方	初期診療を希望する人数の把握は困難なため目標値は設定しない								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	19,365,829		18,700,580		19,431,631				
財源		一般財源	円	11,451,911		11,173,992		2,062,294			
		特定財源（国・都・他）	円	7,913,918		7,526,588		17,369,337			
		（うち受益者負担）	円	3,102,918		3,719,588		11,952,637			
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	1		1		1			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	8,380,000		8,250,000		8,160,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	27,745,829		26,950,580		27,591,631				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組		取組手法：				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
なし							
6	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下	説明： 新型コロナウイルス抗原検査の希望数の増加、インフルエンザの流行により、令和3年度の実績を上回った。					
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明： 医療提供のため、必要以上の事業費縮減は困難である。					
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果			成果 ランク の 説明 と 方向 性		
	(1)		向上	維持		低下	B B
	効果 指標	向上	A	B		D	
		維持	C	E		G	
		低下	F	H		I	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。							
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）							
☒ 見直す余地がある ☐ 見直す余地はない		説明： 電子レセプトシステムを導入することによって、事務の効率化を図ることができる。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： この事業は「地域の医療体制の確保」に寄与する事業であり、業務の改革・改善に積極的に取り組む必要がある。					
7	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）						
	レセプトシステムを導入し、事務の効率化を図る。						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	新型コロナウイルス感染症抗原検査等の実施を優先したため、予算化等できなかった。						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）						
最適なレセプトシステムを選定と並行して、市医師会等への休日急患診療業務の委託化も検討していく。							
8	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
	・インターネット回線の整備 ・東大和市医師会との委託化に向けた調整						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署										
	救急医療体制整備事業費		部	健幸いきいき部				係	健康推進係				
	[東大和市救急医療体制整備事業費補助金事務]		課	健康推進課				課長名	幸村有紀				
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ												
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり						第五次基本計画	65 ページ				
	施策	施策2 — 1 保健、医療						複数施策	☐ あり				
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進						重要施策	☒ 該当			
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり						まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ			
		3	☒ 地域の医療体制の確保						実施計画	☐ 該当			
	事業種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）											
予算科目	会 計	一般会計		款	4	項	1	目	4	事業番号	1		
開始年度	平成 27 年度 ☐ 不詳				行政報告書		333 ページ		新規・継続	継続			
実施の根拠 (法令・要綱等)	特別交付税に関する省令												
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		市民の生命及び健康を守るため、市民の救急医療の需要に応え救急医療にかかる体制整備を行う病院に対し補助金を支払う。										
	対象：誰を、何を対象としているか						目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	救急告示病院						市民の救急医療の需要に応え、救急医療にかかる体制整備を行う。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか						活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	救急医療に関する項目の特別交付税措置額に基づき、救急告示病院に対して補助金を交付する						救急専用病床の確保（30床）、小児初期平日準夜帯診療の実施						
	効果指標	増加を目指す指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		年度目標値		円	33,524,000		33,524,000		33,524,000				
		効果実績値		円	33,524,000		33,524,000		33,524,000				
		目標値設定の考え方		救急告示病院に対し、予算の範囲内で補助金による支援を行う。									
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度				
事業費（実績）		円	33,524,000		33,524,000		33,524,000						
財源		一般財源	円	33,524,000		33,524,000		33,524,000					
		特定財源（国・都・他）	円										
		（うち受益者負担）	円										
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.1		0.1		0.1					
		所要人数（再任用）	人										
		職員人件費（再任用以外）	円	831,000		825,000		816,000					
		職員人件費（再任用）	円										
事業費+人件費		円	34,355,000		34,349,000		34,340,000						
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について												
	特になし												

5 市民協働	市民協働の取組		取組手法：					
	☐ 取組んだ ☒ 取組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点							
	特になし							
6 分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 救急専用病床の維持、確保、小児初期平日準夜帯診療事業の継続実施を行った。					
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 事業費は省令に基づいて算定される。事業実施の人工は維持。					
	(3)指標の達成状況の評価							
		(2) 費用対効果			成果ランク (評 価)	成果 ランク の 説 明 と 方 向 性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
	(1)		向上	維持	低下		B：効果指標が向上・費用対効果が維持	
	効果 指標	向上	A	B	D		E	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
		維持	C	E	G			D：効果指標が向上・費用対効果が低下
		低下	F	H	I			E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わった ところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた 要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上	G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※	H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※	I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）								
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明： 救急専用病床数に応じて補助金額が算定される。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 市民の救急医療に応える体制整備ができなくなる。						
7 課 題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）							
	小児初期平日準夜帯診療事業の市民の利用実績が伸び悩んでいる。							
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
	事業の周知のため市報、HPへ掲載した。							
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）							
	さらなる事業の周知のため市報、HP、SNS等を積極的に実施する。							
	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
さらなる事業の周知のため市報、HP、SNS等を積極的に実施する。								

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月1日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	【健康のつどいの開催】		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 2 年度 ☐ 不詳			行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	令和4年度東大和市健康のつどい実施要領										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		健康のつどいは、保健事業の普及啓発を図り、もって市民の健康の保持増進、健康意識にの高揚に寄与することを目的として開催する。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民					市民の健康の保持増進、健康意識の高揚。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	東大和市健康づくり推進会議との共催で「健康のつどい」を開催。					新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために、ウォーキングに特化したイベントを開催し、行動変容のきっかけとした。					
	効果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	85302		85365		84901			
		効果実績値	人	0		0		146			
		目標値設定の考え方		健康のつどい来場者数							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	0		0		248,172				
財源		一般財源	円					124,172			
		特定財源（国・都・他）	円					124,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人					0.2			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円					1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	0		0		1,880,172				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組		取組手法：健康のつどい実行委員会				
	☒ 取り組んだ	【取組手法の種類】② ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
	☐ 取り組まない						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
会議は委員の出席率をあげ意見を徴収する。							
6	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☐ 向上	説明：楽しくウォーキングしたとの市民からの声もあったため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しながら健康に関するイベントが実施できた。					
	☒ 維持						
	☐ 低下						
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上	説明：印刷等、外部発注することなく作成したため、予算削減につながった。					
	☒ 維持						
	☐ 低下						
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果				成果ランク (評 価)	成果 ランク の 説 明 と 方 向 性
(1)		向上	維持	低下			
効果 指標	向上	A	B	D	E		
	維持	C	E	G			
	低下	F	H	I			
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。							
(4)効率性評価(さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)							
☐ 見直す余地がある		説明： 実行委員会方式のため委員の意見で運営される。					
☒ 見直す余地はない							
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい		説明： 市民が自分の健康について見直し、健康についての意識向上の機会が減少するため。					
☐ 小さい							
☐ 不可能							
7	(1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題(3)を転記)						
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、次年度の開催については検討が必要である。						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	健康のつどいは2年ほど中止していたが、今までの形式にとらわれずに感染拡大防止しながらの開催ということで委員等と検討し、密にならないウォーキングイベントを実施した。						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)						
新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みながら、イベント内容を検討する。							
8	(1)今後の取組(「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)						
	幅広い年齢層が行動変容するようなイベントを検討する。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	【健康づくり推進会議】		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	昭和 56 年度 ☐ 不詳			行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市健康づくり推進会議設置要綱										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		市民の健康の維持・増進を図ることを目的として、東大和市健康づくり推進会議を設置し、健康づくりに関することや保健センターに関することについて検討する。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	推進会議委員				市民の健康保持のため、健康づくりに関すること及び保健センターに関することを検討する。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	推進会議の開催(3回)				推進会議の開催し、市民が健康保持のためのイベント等を検討。 市民の健康に対する行動変容に寄与した。						
	効果指標			単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		年度目標値		人	14		14		14		
		効果実績値		%	85.7		85.7		85.7		
		目標値設定の考え方		委員の出席率							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	210,000		70,000		217,000				
財源		一般財源	円	210,000		70,000		217,000			
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.3		0.3		0.3			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	2,514,000		2,475,000		2,448,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	2,724,000		2,545,000		2,665,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5 市民協働	市民協働の取組		取組手法：健康づくり推進会議						
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない		【取組手法の種類】③ ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点								
	会議は委員の出席率をあげ意見を徴収する。								
6 分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)								
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 委員の意見を聞きながら市民の健康増進に寄与するイベントが開催できた。						
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)								
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： イベントについては費用対効果を勘案して実施できた。						
	(3)指標の達成状況の評価								
		(2) 費用対効果				成果ランク (評 価)	成果 ランク の 説 明 と 方 向 性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
	(1) 効果 指 標		向上	維持	低下			B：効果指標が向上・費用対効果が維持	
		向上	A	B	D			C：効果指標が維持・費用対効果が向上	
		維持	C	E	G			D：効果指標が向上・費用対効果が低下	
		低下	F	H	I			E：効果指標・費用対効果が共に維持	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところ、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上				
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※				
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※				
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※				
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）									
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない			説明：委員の意見で運営される。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能			説明：市民への健康増進のためのイベント内容の検討をしているため、市民の健康増進への機会が減少する。						
7 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）								
	特になし								
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと								
	特になし								
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）								
特になし									
8 方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）								
	今まで会議内容は健康のつどい内容が中心であったが、会議内容についても検討が必要。								

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[骨髓移植ドナー支援事業]		課	健康推進課			課長名	幸村 有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 30 年度 ☐ 不詳			行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市骨髓移植ドナー支援事業奨励金交付要綱										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		公益財団法人日本骨髓バンクが実施する骨髓バンク事業において、骨髓または末梢血幹細胞を提供した者等に対して東大和市骨髓移植ドナー支援事業奨励金を交付することにより、骨髓等の移植の推進及びドナー登録者の増加を図る。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民					骨髓・末梢血管細胞の提供者及び提供者を雇用する事業所の確保					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	骨髓・末梢血管細胞の提供者及び提供者を雇用する事業所への助成金を交付した。					骨髓・末梢血管細胞の提供者及び提供者を雇用する事業所が確保された。					
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値									
		効果実績値	①人 ②件	①0 ②0		①1 ②0		①1 ②1			
		目標値設定の考え方	申請に基づく事業のため、目標設定は困難。								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	0		140,000		210,000				
財源		一般財源	円	0		70000		105,000			
		特定財源（国・都・他）	円	0		70000		105,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.1		0.1		0.1			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	831,000		825,000		816,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	831,000		965,000		1,026,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働	市民協働の取組	取組手法：						
		☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点								
なし									
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
		☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下	説明： 申請件数が増加し、令和3年度の実績を上回った。						
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明： 令和3年度と同様の所要人数で申請件数が増加したため、人件費を縮減することができた。						
		(3)指標の達成状況の評価							
			(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果ランクの 説明と 方向性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
		(1)		向上	維持			低下	B：効果指標が向上・費用対効果が維持
		効果 指標	向上	A	B			D	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
			維持	C	E			G	D：効果指標が向上・費用対効果が低下
			低下	F	H			I	E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上				
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※				
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※				
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※				
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）									
☒ 見直す余地がある ☐ 見直す余地はない		説明： さらなる事業の周知のため市報、HP等の広報媒体を積極的に活用する。							
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： この事業は、骨髄・末梢血管細胞の提供者及び提供者を雇用する事業所の確保を目的としており、今後も事業の継続、改善に積極的に取り組む必要がある。							
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）							
		骨髄提供者の確保を図るため、引き続き周知をしていく。							
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
		全戸配布を行っている健康づくりカレンダーに骨髄提供支援事業について掲載、HPでの骨髄ドナー登録説明員養成講座の案内などを行い、骨髄提供支援事業の周知を図った。							
		(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）							
HPや健康づくりカレンダーに骨髄提供支援事業について掲載しているため、市民に向けた周知は行えているが、事業所に向けた周知方法の検討が課題。									
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
		事業所に向けた周知方法の検討を行う。							

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[三師会に対する補助金交付事務]		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 11 年度 ☐ 不詳			行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市医師会保健衛生事業補助金交付要綱・東大和市歯科医師会保健衛生事業補助金交付要綱・東大和市薬剤師会保健衛生事業費補助金交付要綱										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		市民の健康保持、医薬知識の普及、公衆衛生の向上を図るため、各団体に補助金を交付し、市が行う保健医療事業に協力を得る。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	医師会・歯科医師会・薬剤師会					交付団体が行う公衆衛生活動が推進され、市民が安心して医療や検診事業を受け、健康が保持増進する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	契約締結、実績報告書の内容確認、調整会議の実施、庁内関係課との調整、対外的な窓口としての役割。					地域の医療体制の確保ができた。					
	効果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	団体	3		3		3			
		効果実績値	事業	65		65		65			
		目標値設定の考え方		補助金による財政支援を行うことにより65事業の充実を図る。							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	2,928,400		2,928,400		2,928,400				
財源		一般財源	円	2,928,400		2,928,400		2,928,400			
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人								
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円								
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	2,928,400		2,928,400		2,928,400				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5 市民協働	市民協働の取組		取組手法：				
	☐ 取組んだ ☒ 取組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
	なし						
6 分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 安定的な地域保健医療の提供ができた。				
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 各団体と常に事業実施において連携を図ることで適正な事業実施を行った。				
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果			成果ランク (評 価)	成果 ランク の 説 明 と 方 向 性	
	(1)		向上	維持	低下		
	効果 指標	向上	A	B	D		E
		維持	C	E	G		
		低下	F	H	I		
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。							
A：効果指標・費用対効果が共に向上 B：効果指標が向上・費用対効果が維持 C：効果指標が維持・費用対効果が向上 D：効果指標が向上・費用対効果が低下 E：効果指標・費用対効果が共に維持 F：効果指標が低下・費用対効果が向上 G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※ H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※							
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）							
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明： 安定的な地域保健医療に寄与する補助金であるため。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 安定的な地域保健医療の提供ができなくなる恐れがある。					
7 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）						
	なし						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	なし						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）						
市の実情の変化などにあわせ、連携協力を維持する。また各団体と地域保健推進に係る情報・課題などについて引き続き共有していく。							
8 方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
	市民の生命の安全安心を守るため、地域保健医療提供体制を安定させていく。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年 4月14日

基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費 [専用水道事務等委託]		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
			課	健康推進課			課長名	幸村 有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	1 施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 25 年度		☐ 不詳		行政報告書	285 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市専用水道事務等の事務委託に関する規約										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		平成25年4月から、地域主権推進一括法により、水道法に係る事務が市に権限移譲されたが、事務の特殊性や効率的な行政運営をするために、保健所設置市を除く多摩地域24市にて東京都と事務委託契約を行い、委託料を支払う。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	専用水道等				安全で衛生的な飲料水の確保						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	東京都へ事務の委託をした				安全で衛生的な飲料水が確保された						
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	1,467,131		1,125,780		621,125			
	財源	一般財源	円	1,467,131		1,125,780		621,125			
		特定財源（国・都・他）	円								
		（うち受益者負担）	円								
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	30.0		30.0		30.0			
		所要人数（再任用）	時間								
		職員人件費（再任用以外）	円	129,000		126,000		126,000			
職員人件費（再任用）		円									
事業費+人件費		円	1,596,131		1,251,780		747,125				
4 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	権限移譲により平成25年度から市が行う事務となったが、専門性などの面から引き続き東京都へ委託を行っていく必要がある。										
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	引き続き東京都へ委託を行い、委託料の支払いを行った。										
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
後も東京都へ委託を行い、委託料の支払いを行う。											
5 今後の方向性	(1)仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	権限移譲により平成25年度から市が行う事務となったが、専門性などの面から引き続き東京都へ委託を行っていく必要がある。										
	(2)上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署										
	保健事業費		部	健幸いきいき部				係	健康推進係				
	[薬物乱用防止推進東大和地区協議会運営費補助金]		課	健康推進課				課長名	幸村 有紀				
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ												
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり						第五次基本計画	65 ページ				
	施策	施策2 — 1 保健、医療						複数施策	☐ あり				
	展開方向	1	☒ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進						重要施策	☒ 該当			
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり						まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ			
		3	☐ 地域の医療体制の確保						実施計画	☐ 該当			
	事業種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）											
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2			
開始年度	平成 10 年度 ☐ 不詳				行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続			
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市東京都薬物乱用防止推進東大和地区協議会運営費補助金交付要綱												
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		東京都薬物乱用防止推進東大和地区協議会運営費補助金を交付することにより、覚せい剤等薬物乱用防止のために啓発活動を推進し、薬物乱用禍の根絶を図る。										
	対象：誰を、何を対象としているか						目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	市民						薬物乱用防止の正しい知識を持つ						
	活動内容：どのような手段で行ったのか						活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	①啓発活動への協力 ②多摩立川保健所主催の6市連絡会に出席						①1回（中学生によるポスター標語応募） ②1回						
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
		年度目標値	人	375			658			80			
		効果実績値	人	658			80			64			
		目標値設定の考え方		前年度における応募数を維持する									
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
事業費（実績）		円	64,000			64,000			64,000				
財源		一般財源	円	64,000			64,000			64,000			
		特定財源（国・都・他）	円										
		（うち受益者負担）	円										
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.2			0.2			0.2			
		所要人数（再任用）	人										
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000			1,650,000			1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円										
事業費+人件費		円	1,740,000			1,714,000			1,696,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について												
	なし												

5	市民協働の取組		取組手法：						
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点								
	なし								
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)							
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： ポスター・標語の応募人数について全体数は減っているものの、内訳として令和3年度2名しか応募がなかった標語部門に令和4年度は28名の応募があり、標語部門については令和3年度の実績を上回った。					
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)							
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 補助金額の変更はないが、人件費を削減できた。					
		(3)指標の達成状況の評価							
			(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果ランクの説明と方向性	A：効果指標・費用対効果が共に向上	
		(1)	向上	維持	低下			B：効果指標が向上・費用対効果が維持	
		効果指標	向上	A	B			D	C：効果指標が維持・費用対効果が向上
			維持	C	E			G	D：効果指標が向上・費用対効果が低下
			低下	F	H			I	E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上				
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※				
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※				
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※				
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）									
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない			説明： 薬物乱用防止に寄与する補助金のため、削減は困難である。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)									
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能			説明： 薬物乱用防止に寄与する補助金のため、休止・廃止は困難である。						
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）							
		ダンスイベントを市と共催にできるか引き続き検討する。また、コロナ禍でも開催できるイベントや研修会等を検討する。							
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと							
		新型コロナウイルス感染症拡大によりダンスイベントは実施できなかったが、研修会や会議を実施した。							
		(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）							
ダンスイベントは、特に若年層に対する啓発効果が期待できるため、実施できるよう協力していく。									
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）							
		ダンスイベントを市との共催することの妥当性を検討する（類似イベントの実施方法の調査等）。							

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[昭和病院企業団事務]		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 3 年度			☐ 不詳		行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続
実施の根拠 (法令・要綱等)											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		7市（小金井、小平、東村山、東久留米、清瀬、東大和、西東京）で組織する公立昭和病院企業団に受診者数等の割合による分賦金を支払う。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民（構成市市民）					多くの市民が必要な高度専門医療を受け、健康を回復する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	分賦金の支払い、広報掲載、実績確認等					必要な高度専門医療が受けられた。					
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	22,740		247,849		246,382			
		効果実績値	人	4.1		3.9		4.1			
		目標値設定の考え方		市民の利用割合の維持							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	84,697,000		78,767,000		75,410,000				
財源		一般財源	円	2,124,000		10,296,000		0			
		特定財源（国・都・他）	円	82,573,000		68,471,000		75,410,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.2		0.2		0.2			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000		1,650,000		1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	86,373,000		80,417,000		77,042,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組		取組手法：				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
なし							
6	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 市民が必要な高度専門医療を受診できた。				
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 7市で費用分担しているため。				
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果			成果 ランク の 説明 と 方向 性		
	(1)		向上	維持		低下	E
	効果 指標	向上	A	B		D	
		維持	C	E		G	
		低下	F	H		I	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。							
A：効果指標・費用対効果が共に向上 B：効果指標が向上・費用対効果が維持 C：効果指標が維持・費用対効果が向上 D：効果指標が向上・費用対効果が低下 E：効果指標・費用対効果が共に維持 F：効果指標が低下・費用対効果が向上 G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※ H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※							
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）							
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明： 構成市7市で分担しているため、削減は困難である。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 市民が必要な高度専門医療が受けられない。					
7	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）						
	東大和市民の利用が減少している。						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	構成市民優遇制度の情報の発信。HP、市報への関連記事の掲載。定例会議録の閲覧。						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）						
東大和市民の利用が減少している。							
8	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
	市報、HP等を活用する。その他の情報提供の方法等について検討する。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[昭和病院企業団事務]		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	1	事業番号	2	
開始年度	平成 3 年度			☐ 不詳		行政報告書		285 ページ		新規・継続	継続
実施の根拠 (法令・要綱等)											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		7市（小金井、小平、東村山、東久留米、清瀬、東大和、西東京）で組織する公立昭和病院企業団に受診者数等の割合による分賦金を支払う。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民（構成市市民）					多くの市民が必要な高度専門医療を受け、健康を回復する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	分賦金の支払い、広報掲載、実績確認等					必要な高度専門医療が受けられた。					
	効果指標	増加を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	22,740		247,849		246,382			
		効果実績値	人	4.1		3.9		4.1			
		目標値設定の考え方		市民の利用割合の維持							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	84,697,000		78,767,000		75,410,000				
財源		一般財源	円	2,124,000		10,296,000		0			
		特定財源（国・都・他）	円	82,573,000		68,471,000		75,410,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0.2		0.2		0.2			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000		1,650,000		1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	86,373,000		80,417,000		77,042,000				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組		取組手法：				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
なし							
6	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 市民が必要な高度専門医療を受診できた。				
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 7市で費用分担しているため。				
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果			成果 ランク の 説明 と 方向 性		
	(1)		向上	維持		低下	E
	効果 指標	向上	A	B		D	
		維持	C	E		G	
		低下	F	H		I	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。							
A：効果指標・費用対効果が共に向上 B：効果指標が向上・費用対効果が維持 C：効果指標が維持・費用対効果が向上 D：効果指標が向上・費用対効果が低下 E：効果指標・費用対効果が共に維持 F：効果指標が低下・費用対効果が向上 G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※ H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※							
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）							
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明： 構成市7市で分担しているため、削減は困難である。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 市民が必要な高度専門医療が受けられない。					
7	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）						
	東大和市民の利用が減少している。						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	構成市民優遇制度の情報の発信。HP、市報への関連記事の掲載。定例会議録の閲覧。						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）						
東大和市民の利用が減少している。							
8	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
	市報、HP等を活用する。その他の情報提供の方法等について検討する。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	歯科医療連携推進事業費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	【歯科医療連携推進事業】		課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	4	事業番号	2	
開始年度	平成 19 年度			☐ 不詳		行政報告書		333 ページ		新規・継続	継続
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市歯科医療連携推進事業実施要綱										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		東大和市歯科医師会の協力を得て、要介護高齢者・障害者等で地域にかかりつけ歯科医を持たない市民を対象に訪問歯科診療の紹介を実施する。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	市民（主に高齢者、障がい者）					一般市民はもとより、在宅障がい者、在宅要介護者が口腔ケアの重要性を認識し、実践する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	①「なんでも聞こう無料歯科相談」（新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止）②歯科医療連携推進事業運営会議の開催（書面開催3月8日）③摂食嚥下講演会の開催（3月29日開催）					各事業等を実施することで訪問歯科診療の紹介をし、市民が重要性を認識できた。					
	効果指標		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	人	85,314		85,183		84,881			
		効果実績値	人	0		0		0			
		目標値設定の考え方	なんでも聞こう！無料歯科相談来場者数								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	1,250,160		1,301,317		1,271,920				
財源		一般財源	円	625,160		675,317		662,920			
		特定財源（国・都・他）	円	625,000		626,000		609,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	0		0		0			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000		1,650,000		1,632,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	2,926,160		2,951,317		2,903,920				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	なし										

5	市民協働の取組		取組手法：				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点						
なし							
6	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を勘案しながら、事業を実施し、歯科医療について市民に周知することができた。				
	(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
	☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 歯科医師会との協議により事業を実施したため				
	(3)指標の達成状況の評価						
		(2) 費用対効果			成果 ランク の 説明 と 方向 性		
	(1)		向上	維持		低下	E
	効果 指標	向上	A	B		D	
		維持	C	E		G	
		低下	F	H		I	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。							
A：効果指標・費用対効果が共に向上 B：効果指標が向上・費用対効果が維持 C：効果指標が維持・費用対効果が向上 D：効果指標が向上・費用対効果が低下 E：効果指標・費用対効果が共に維持 F：効果指標が低下・費用対効果が向上 G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※ H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※							
(4)効率性評価(さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)							
☐ 見直す余地がある ☒ 見直す余地はない		説明： 歯科医師会との共催であるため。					
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)							
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 現在、歯の健康は全身の健康に大きく影響するといわれており、健康増進の観点からも歯科医療に対して市民に周知する必要がある。					
7	(1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題(3)を転記)						
	歯と全身の健康についての周知・啓発を今後もしていく。						
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
	成人歯科健康診査の案内にちらしを同封して周知した。						
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)						
今後も積極的に周知していく。							
8	(1)今後の取組(「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)						
	地域包括ケア推進課や障害福祉課と連携し、協力を依頼する。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年4月14日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	保健センター運営費		部	健幸いきいき部			係	健康推進係			
	[保健センター運営]		課	健康推進課			課長名	幸村 有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☒ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	3	事業番号	1	
開始年度	昭和 58 年度 ☐ 不詳			行政報告書		333 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東大和市立保健センター条例、東大和市立保健センター条例施行規則										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		保健センターを適切に管理する。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	保健センター建物				建物管理が適切に行われ、利用者や勤務者の安全が保たれる。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	管理・運営を適切に行った。				空調機器が経年劣化により稼働停止するなど不具合が頻発したため、入替を行うこととした（令和4年度、令和5年度）。						
	効果指標	減少を目指す指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		年度目標値	円	5,856,000		8,750,000		22,771,000			
		効果実績値	円	5,402,951		7,745,415		21,144,369			
		目標値設定の考え方	予算額よりも少ない額で運営する。								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	5,402,951		7,745,415		21,144,369				
財源		一般財源	円	5,402,951		7,745,415		8,144,369			
		特定財源（国・都・他）	円					13,000,000			
		（うち受益者負担）	円								
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	1.0		1.0		1.0			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	8,380,000		8,250,000		8,160,000			
	職員人件費（再任用）	円									
事業費+人件費		円	13,782,951		15,995,415		29,304,369				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	特になし										

5	市民協働の取組		取組手法：					
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点							
	特になし							
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 健診等で妊産婦、乳幼児が多く訪れる施設であるため、施設内での熱中症等の事故を防止するため空調の入替に着手した。				
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下		説明： 空調機器の入替には費用を要するが、施設内での事故を防止し、安全な施設利用を図ることができる。				
		(3)指標の達成状況の評価						
			(2) 費用対効果			成果ランク (評価)	成果ランクの説明と方向性	
		(1)		向上	維持			低下
		効果指標	向上	A	B			D
			維持	C	E			G
			低下	F	H			I
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。								
(4)効率性評価(さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)								
☒ 見直す余地がある ☐ 見直す余地はない		説明： 修繕箇所、備品耐用年数等必要な事項を把握し、計画的な更新を行う。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 施設、機器等の経年劣化による事故の発生につながる。						
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題(3)を転記)						
		備品及び施設の老朽化						
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと 老朽化した空調設備の更新に着手した。 包括管理業務委託による点検、備品管理状況の確認をおこなった。						
8	今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)						
		備品及び施設の老朽化						
		(1)今後の取組(「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 包括管理業務委託による点検の結果、修繕等が指摘されたものについて対応していく。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年 4月14日

基本情報	事業名称		担当部署								
	新型コロナウイルス感染症対策事業費 [新型コロナウイルスワクチン接種]		部	健幸いきいき部			係	新型コロナウイルス感染症対策担当係長			
			課	健康推進課			課長名	中山 仁			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	1 施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☒ 法定受託事務 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	4	
開始年度	令和 2 年度		☐ 不詳		行政報告書	330 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	感染症法、予防接種法等										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国の方針に基づき、予防接種実施体制の整備を行い、ワクチン接種を実施する。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	新型コロナウイルスワクチンの接種対象となった市民					新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ワクチン接種を促進する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	・ワクチンの手配、集団接種及び個別接種の実施により接種を希望するすべての方が接種できる体制を確保					接種率 1回目81.89%、2回目81.30%、3回目67.80%、4回目46.26%、5回目23.18% （令和3年度からの累計）					
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	37,086,752		735,598,905		662,683,605			
	財源	一般財源	円	6,841		194		881			
		特定財源（国・都・他）	円	37,079,911		735,598,711		662,682,724			
		（うち受益者負担）	円	0		0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.2		1.4		2.0			
		所要人数（再任用）	人	0.0		0.0		0.0			
		職員人件費（再任用以外）	円	1,676,000		11,550,000		16,320,000			
		職員人件費（再任用）	円								
事業費+人件費		円	38,762,752		747,148,905		679,003,605				
4 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	・接種率の向上に向けた取り組みの検討 ・4回目接種に向けた準備										
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	・集団接種会場において、予約なし接種を実施 ・4回目接種、オミクロン株対応ワクチン接種等、国の方針に基づき対応										
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
5 今後の方向性	・感染症法上の取扱いが2類から5類へ移行することに伴う対応										
	(1)仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	・特例臨時接種から定期接種移行へ向けた、個別接種体制への移行										
(2)上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く											
・医師会と調整を行い、円滑な個別接種体制への移行が必要である。											